

2-5 各部の納まり詳細図

木造軸組下地

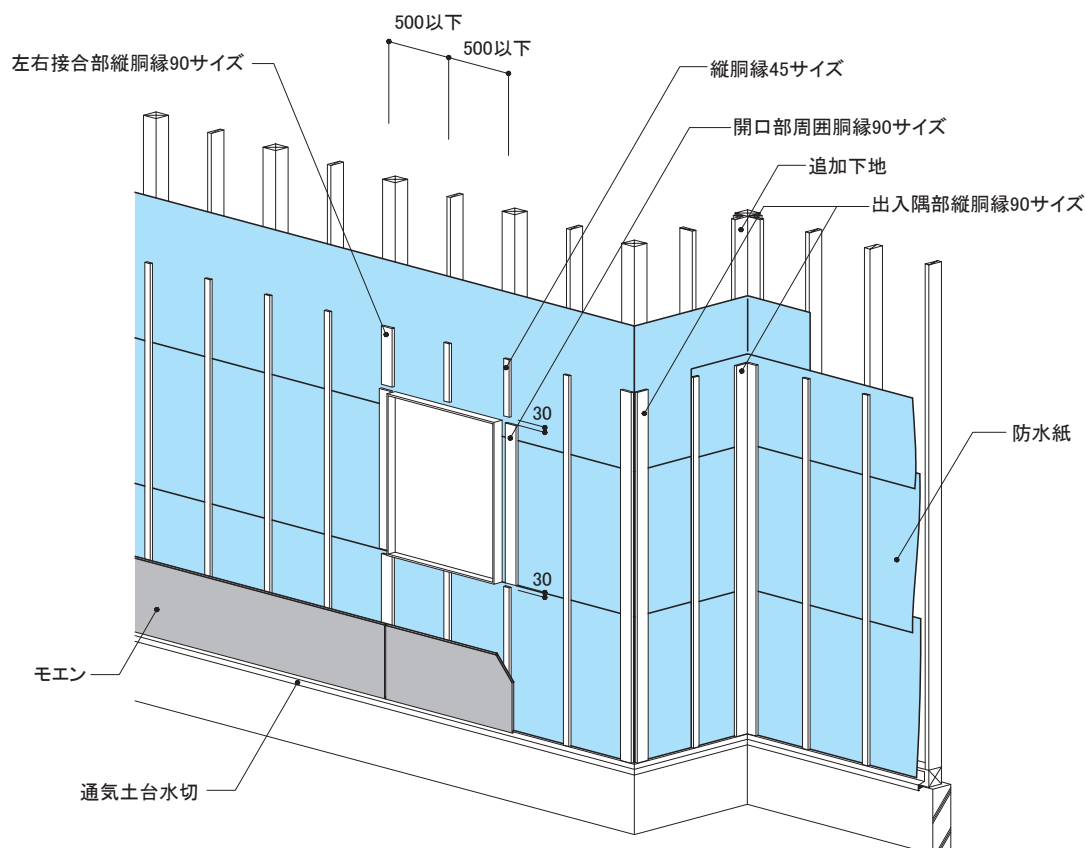
横張り

釘打ち施工

1) 基本構成図・下地組図

1. 5尺×10尺

- 通気土台水切は胴縁組みを行う前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
- 入隅部や出隅部などで、胴縁が躯体に留め付けられない場合は追加下地を設け、必ず下地に留め付けるようにします。
- 下地組みは図のように木胴縁を使用し、スギ材は厚み18mm以上、ベイツガ材は厚み15mm以上の乾燥材を使用します。
- 木胴縁の幅は45mm以上を標準サイズとし、左右接合部、出入隅部、開口部まわりなどの指定箇所には90mm以上を使用します。
- 木胴縁はN65、CN65以上の釘またはφ3.8mm×50mm以上のビスを使用し、500mm以下の間隔で躯体に留め付け、仕上げ面の不陸(段差)は3mm以下となるように調整して施工します。
- 開口部まわりの縦胴縁は30mmの隙間を設け、通気する構造とします。
- 積雪地域では、積雪の高さまで補強胴縁を取り付けます。(P33参照)



釘頭

釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。